

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで一切開かないでください。

令和 6 年度

第 二 種 販 売

法令試験問題

KX

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

注 意 事 項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) ①受験番号の下 4 桁が「0001~1999」及び「5001~5999」の方は「全問（問 1 ~ 問20）」を受験してください。
②受験番号の下 4 桁が「3001~3999」及び「7001~7999」の方は「高圧ガス保安法令に関する問題（問 1 ~ 問10）」を受験してください。
③受験番号の下 4 桁が「2001~2999」及び「6001~6999」の方は「液化石油ガス法令に関する問題（問11~問20）」を受験してください。
- (4) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (5) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)~(5)の中から、**最も適切なものを 1 問につき 1 個だけ選んでください**。1 問につき 2 個以上選択した場合には、その問題については 0 点になります。
- (6) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。
「記入例」
問 次のうち正しいものはどれか。
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E
(1) (2) (3) (4) (5)
(3)を選択する場合には、○ ○ ● ○ ○ のように、○ の枠いっぱいにはみ出さないように HB 又は B 鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (7) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (8) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

二販(法)KX

問1から問10までの問題は、高圧ガス保安法に係る法令に関するものです。

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、この試験は、次による。

- (1) 令和6年4月1日現在施行されている高圧ガス保安法に係る法令に基づき出題している。
- (2) 経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。
- (3) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のため、民間事業者及び高圧ガス保安協会による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進することも定めている。

ロ. 圧力が0.2メガパスカルとなる場合の温度が35度以下である液化ガスは、高圧ガスではない。

ハ. 高圧ガスを充填した容器の所有者又は占有者は、その容器が危険な状態となったとき、直ちに、所定の災害の発生の防止のための応急の措置を講じなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問2 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 販売業者は、販売所を新たに設けた場合、軽微な変更として、その販売所における高圧ガスの販売の事業開始後遅滞なく、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

ロ. 販売業者は、その所有し、又は占有する容器を盗まれたときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等又は警察官に届け出なければならない。

ハ. 販売業者は、その所有し、又は占有する第二種貯蔵所に異常があった場合、その貯蔵所に備えた帳簿に所定の事項を記載し、これをその記載の日から2年間保存しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 容器に充填された高圧ガスの輸入をした者は、輸入をした高圧ガス及びその容器について、指定輸入検査機関が行う輸入検査を受け、これらが輸入検査技術基準に適合していると認められた場合、指定輸入検査機関がその検査結果を都道府県知事等に報告することとなっているので、検査を受けた旨を都道府県知事等に届け出る必要がなく、かつ、都道府県知事等が行う輸入検査を受けることなく、その高圧ガスを移動することができる。

ロ. 販売業者は、高圧ガスの販売の事業を廃止しようとするときは、都道府県知事等の許可を受けなければならない。

ハ. 販売業者がその販売所（特に定められたものを除く。）において指定した場所では、何人も火気を取り扱ってはならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）について正しいものはどれか。

- イ. 容器に充填する液化石油ガスの質量は、その容器の内容積に関係なく、容器に刻印等又は自主検査刻印等において示された最大充填質量以下のものでなければならない。
- ロ. 容器に所定の表示がされているものであることは、高圧ガスを容器に充填することができる条件の一つである。
- ハ. 容器を廃棄する者は、その容器の外面に「廃棄容器」である旨の表示をすれば、これをくず化し、その他容器として使用することができないように処分する必要はない。

(1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）について容器保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 容器には、「充填すべき高圧ガスの種類」として、液化石油ガスの名称、略称又は分子式を刻印等することと定められている。
- ロ. 容器に刻印等をすべき事項の一つに、その容器が受けるべき次回の容器再検査の年月がある。
- ハ. 容器の所有者がその容器の外面に表示すべき事項の一つに、液化石油ガスの性質を示す文字「燃」の明示がある。

(1) ハ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問6 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が販売する液化石油ガスを購入して消費する者に対し、所定の方法により、その液化石油ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その周知について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 周知の対象となる高圧ガス及びその用途の一つに、熱切断用の液化石油ガスがある。
- ロ. 周知させるべき時期は、販売契約を締結したとき及びその周知をしてから2年以上経過して液化石油ガスを引き渡したときごとである。
- ハ. 消費設備の変更に関し注意すべき基本的な事項は、周知させるべき事項の一つである。

(1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問7 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売業者について正しいものはどれか。

- イ. 販売業者は、液化石油ガスの引渡先の保安状況を明記した台帳を備えなければならない。
- ロ. 販売業者が販売のため、質量3000キログラム未満の液化石油ガスを貯蔵するときは、第二種貯蔵所においてする必要はない。
- ハ. 販売主任者には、所定の免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスに関する所定の経験を有する者のうちから選任しなければならないが、その免状は第二種販売主任者免状に限られる。

(1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問8 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の液化石油ガス（液化石油ガスを燃料として使用する車両において、その車両の燃料の用のみに消費される液化石油ガスを除く。）の消費に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．一般複合容器は、水中で使用しないことと定められている。

ロ．充填容器及び残ガス容器は、転落、転倒等による衝撃又はバルブの損傷を受けないよう粗暴な取扱いをしてはならない。

ハ．貯蔵設備、導管及び減圧設備並びにこれらの間の配管の周囲5メートル以内においては、特に定められた措置を講じた場合を除き、火気（その消費設備内のものを除く。）の使用が禁じられているが、引火性又は発火性の物を置くことについては禁じられていない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) ロ、ハ

問9 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が25リットルを超えるもの）による液化石油ガスの移動に係る技術上の基準等について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．充填容器は、特に定められたものを除き、常に温度40度以下に保たなければならない。

ロ．液化石油ガスを移動するときは、移動中の災害防止のために必要な注意事項を記載した書面を運転者に交付し、移動中携帯させ、これを遵守させなければならない。

ハ．質量3000キログラム以上の液化石油ガスを移動するとき、第二種販売主任者免状の交付を受けている者であれば、その者が高圧ガス保安協会が行う液化石油ガスの移動についての講習を受けていなくても、その移動についてその者に監視させることができる。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) ロ、ハ

問10 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が質量1.5キログラムを超える液化石油ガスを容器（液化石油ガスを燃料として使用する車両に固定した容器（その車両の燃料の用のみに供するものに限る。）を除く。）により貯蔵する場合、貯蔵の方法に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．車両に積載した容器により高圧ガスを貯蔵するときは、第一種貯蔵所又は第二種貯蔵所において行わなければならない。

ロ．容器置場には、作業に必要な計量器を置くことができるが、携帯電燈以外の燈火を携えて立ち入ってはならない。

ハ．質量10キログラムの液化石油ガスを充填することができる容器であっても、充填容器と残ガス容器にそれぞれ区分して容器置場に置かなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問11から問20までの問題は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）に係る法令に関するものです。

問11から問20までの各問について、液化石油ガス法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、この試験は、次による。

- (1) 令和6年4月1日現在施行されている液化石油ガス法に係る法令に基づき出題している。
- (2) 経済産業大臣が危険のおそれのないと認めした場合等における規定は適用しない。

問11 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス法は、一般消費者等に対する液化石油ガスの販売、液化石油ガス器具等の製造及び販売等を規制することにより、液化石油ガスによる災害を防止するとともに液化石油ガスの取引を適正にし、もって公共の福祉を増進することを目的としている。
- ロ. 鉄道車両及び航空機内で液化石油ガスを飲食物の調理のための燃料として業務の用に供する者（高圧ガス保安法に規定する特定高圧ガス消費者を除く。）は、「一般消費者等」である。
- ハ. 液化石油ガスを蒸気の発生又は水温の上昇のための燃料としてサービス業の用に供する者（特に定められたものを除く。）は、「一般消費者等」である。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問12 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 貯蔵設備が容器である場合、その貯蔵能力が3000キログラム以上の供給設備には、特定供給設備の技術上の基準が適用される。
- ロ. 充てん設備を用いて供給設備に液化石油ガスを充てんしようとする者は、その充てん設備ごとに経済産業大臣の許可を受けなければならない。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者は、その販売所ごとに高圧ガス保安法に規定する第一種貯蔵所を所有し、又は占有している場合であっても、一般消費者等に販売する液化石油ガスを貯蔵するため、販売所ごとに面積3平方メートル以上の自己の用に供する液化石油ガスの貯蔵施設を所有し、又は占有しなければならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問13 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 保安業務を行おうとする者は、液化石油ガス販売事業の登録を受けた者でなければ認定を受けることができない。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者と保安機関との保安業務の委託契約を締結するとき、相互に交付する書面に記載すべき事項の一つに、「保安業務を実施した結果を液化石油ガス販売事業者に連絡する方法」がある。
- ハ. 液化石油ガス販売事業者が、その販売契約を締結している一般消費者等に対し行わなければならない保安業務の一つに、「その消費する液化石油ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させる業務」がある。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問14 次のイ、ロ、ハの記述のうち、業務主任者及びその代理者について正しいものはどれか。

- イ. 販売所ごとに選任すべき業務主任者の要件は、その者が第二種販売主任者免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスの販売の実務に6か月以上従事した経験を有することである。
- ロ. 業務主任者の代理者を選任することは、定められた業務主任者の職務の一つである。
- ハ. 業務主任者の代理者の選任は、その販売する一般消費者等の数に関係なく、販売所ごとに1人以上でなければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問15 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス販売事業者が、一般消費者等と液化石油ガスの販売契約を締結したときに交付する書面に記載すべき事項の一つに、「保安機関の名称、住所及び連絡方法」がある。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者が販売所ごとに備える帳簿に記載すべき場合の一つに、「貯蔵施設又は特定供給設備に異常があった場合」がある。
- ハ. 保安機関が行う保安業務に係る消費設備の調査を行うことができる保安業務資格者は、第二種販売主任者免状又は液化石油ガス設備士免状の交付を受けている者に限られる。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問16 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ. 充てん容器を供給管若しくは配管又は集合装置に接続するときは、その容器の外面に容器の使用上支障のある腐しやく、割れ、すじ、しわ等がなく、かつ、液化石油ガスが漏えいしていないものである場合、充てん期間を6か月以上経過しているものを接続することができる。
- ロ. 特に定められた場合を除き、貯蔵施設の周囲2メートル以内には、火気又は引火性若しくは発火性の物を置いてはならない。
- ハ. 一般消費者等から液化石油ガス販売契約の解除の申し出があった場合において、その販売事業者が所有権を有する消費設備に係る配管については、特に定められた場合を除き、適正な対価で一般消費者等に所有権を移転しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問17 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ. 供給設備の充てん容器及び残ガス容器を交換するときは、その容器に係る消費設備の数が一つである場合、特に定められた場合を除き、液化石油ガスの供給が中断することにより使用中の燃焼器から液化石油ガスが漏えいすることのないよう末端ガス栓を閉止する等の措置を講じて行わなければならない。
- ロ. 特に定められた場合を除き、充てん容器を供給管若しくは配管又は集合装置に接続して販売しなければならない。
- ハ. 液化石油ガスを遮断して供給管の修理をするときは、あらかじめ、修理の作業計画及びその作業の責任者を定め、修理は、その作業計画に従い、かつ、その責任者の監督の下に行わなければならない。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問18 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

- イ. 供給管若しくは集合装置又は調整器から充てん容器又は残ガス容器を取り外すときは、その取り外す容器について、バルブを確実に閉止し、かつ、安全な場所に移す措置を講じなければならない。
- ロ. バルブ、集合装置、気化装置及び供給管のうち、漏えい試験に合格するものでなければならないのは、バルブ、集合装置及び供給管である。
- ハ. 損傷を防止する措置を講じた供給管であれば、建物の基礎面下に設置することができる。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) イ、ハ

問19 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ. 貯蔵設備が容器であって、貯蔵能力が1000キログラム以上3000キログラム未満であるものには、消火設備を設けなければならない。

ロ. 貯蔵能力が1000キログラム未満である貯蔵設備の充てん容器及び残ガス容器は、液化石油ガスが漏えいしたとき滞留しないような措置を講じた場合、常に温度40度以下に保つ必要はない。

ハ. 貯蔵設備が容器であって、貯蔵能力が2000キログラムである貯蔵設備は、所定の障壁を設けた場合を除き、その外面から第一種保安物件及び第二種保安物件に対しそれぞれ所定の距離以上の距離を有しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問20 次のイ、ロ、ハの記述のうち、消費設備（質量により液化石油ガスを販売する場合におけるものを除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ. ガスメーターと燃焼器の間の配管その他の設備は、生活の用に供する液化石油ガスに係るものである場合、その燃焼器の入口における液化石油ガスの圧力を2.0キロパスカル以上3.3キロパスカル以下の範囲に保持するものでなければならない。

ロ. 配管は、その設置又は変更（硬質管以外の管の交換を除く。）の工事の終了後に8.4キロパスカル以上の圧力で行う気密試験に合格するものでなければならない。

ハ. 屋内に設置されている密閉式のガスふろがまであって、給排気部の天井裏、床裏等にある部分（給気に係る部分を除く。）は、特に定められた場合を除き、金属で覆われていなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ